

1 天神橋（あいち 橋の会）

国道155号の中で一級河川矢田川に架かる橋であり、かつては拳母(現：豊田市)街道の一部としてその役目を果たしていました。橋名の由来は、「山口天神(現：山口八幡社)へ通ずる橋だった」、「天神川(現：矢田川)に架かる唯一の橋だった」など、様々な言い伝えがあります。

現在のような鉄筋コンクリート製の橋となった昭和38年以前は、一部あるいは全部が木で作られており、洪水や山からの流水が原因で何度も流されていました。それ以後、明治時代から近年まで続く砂防工事の成果もあり流されることは無くなりました。

2 愛知環状鉄道

国鉄時代に岡多線として開通した岡崎～新豊田間と、新しく建設された新豊田～高蔵寺間を継承して昭和63年に開業しました。瀬戸市には、今回スタートとなる山口駅のほか、瀬戸口駅・瀬戸市駅・中水野駅をあわせて4つの駅があります。

愛知万博開催期間中は名古屋駅～万博八草駅（現：八草駅）までの直通列車を運行し、約860万人を無事故で輸送しました。万博終了後も直通列車は通勤・通学需要に応えるために名古屋駅～瀬戸口駅で継続しており、安全・快適な輸送サービスを通じて地域の発展に貢献しています。

3 矢田川（川と流域の歴史）（愛知・川の会）

瀬戸市の南半分は庄内川の支流矢田川上流部の流域となっています。瀬戸川が合流する地点から上流がほぼ瀬戸市内となっています。矢田川流域を含む尾張東部丘陵地帯の地質は瀬戸層群と呼ばれ、この地域は平安時代からの窯跡があり、窯業が盛んで、江戸時代後半からは陶土の採掘や燃料用の薪の採取で山は荒廃していき、その後、薪に代わり、石炭窯が普及しました。石炭窯の普及により黒煙のたなびく工業都市となり、住民の衛生面や防火の面から上水道による給水の必要が生じました。

4 海上の森入口駐車場（休憩スポット）

瀬戸の和菓子処三好屋老泉の和菓子とせともの茶碗を使った茶友会によるお抹茶のおもてなしがあります。モリゾー・キッコロのかわいい和菓子もご賞味ください。

(和菓子、抹茶は有料)



5 山口堰堤（愛知県砂防ボランティア協会）

山口川（現赤津川）は、上流の山からの土砂流出が著しく、川底の上昇などにより、たびたび氾濫が発生していました。また、慢性的な農業用水の不足にも苦しめられていました。

このため、山口川の上流の水を馬ヶ城浄水場へ供給する計画に反対する地域の紛争解決策として既存の砂防堰堤をかさ上げ（高さ8m→17.1m）して洪水調節機能と農業用水を供給する機能をもった山口堰堤が建設されました。

6 屋戸川砂防堰堤（給水所あり）

貴重な植物や生き物が生息する屋戸川では、愛・地球博のテーマ「自然の叡智」で自然との共生を目指していることを踏まえ、石や丸太を砂防堰堤や護岸に貼り付け、スタンプを押そう！植物や生き物がくらしやすいように工夫し、さらに景観にも配慮しています。

砂防堰堤の真ん中には開口部をあけて、堤体中央部に流水が集まるようにして、岸斜面の浸食を防ぐ構造にしています。また、砂を少しずつ下流に流す効果もあります。



7 石積み水路と水の生き物

吉田川にはホタルやその餌となるカワニナが生息しています。ホタルの幼虫はカワニナを食べて成長し、サナギになるために上陸した後、羽化を経て成虫となります。吉田川からこの辺りの水田につながる水路には、ホタルの生活史（幼虫期、サナギ期、成虫期）に合わせた生育環境を確保できる石積み水路を採用しています。石積みの凹凸は、ホタルの幼虫の隠れ場所や上陸時の移動経路として利用されています。ここでは、名糖産業株式会社瀬戸工場で製造されたチョコレートの配布もあります。

8 吉田川ビオトープ(山口ホタルの会)

吉田川のホタルは、昭和38年からの土地改良事業で絶滅したと思われていましたが、昭和55年頃から自然発生により再び見られるようになりました。そこで山口地域まちづくり協議会では、ホタルの保護活動を開始しました。平成17年に吉田川ビオトープが完成し、養殖などを一切行わず、水辺の環境を守ることでホタルの自然繁殖を目指しました。専属で保護活動をする「山口ホタルの会」が毎年、環境整備と観覧会を行っています。

9 吉田川砂防堰堤

吉田川の周辺は、「海上の森」が広がる緑豊かな里山で、さまざまな自然の姿に触れることができます。砂防堰堤の真ん中にはすきま（スリット）をあけて、流水や土砂が少しずつ流れるようにし、川底などが掘れるのを防ぎます。すきまがあると生き物が上流まで上れるようになります。

10 あいち海上の森センター本館

スタンプを押そう！

海上の森の保全と活用の取組、森林や里山に関する学習と交流の拠点となる施設です。海上の森の自然や歴史を紹介する展示室や、2500冊以上の蔵書が閲覧できる情報ライブラリーがあります。



11 窯の歴史館

平安時代中期の古窯を保存・展示した施設です。窯跡を発掘されたままの状態で保存・展示しており、出土した陶器やその歴史などみることができます。

窯跡を保存するために平成17年に建設された建物は、筋交いを使わない「貫」構造が特徴で、床には圧縮木材が使用されています。



12 繭玉広場

「山繭（やままゆ）」をモチーフとした、丸みをもった漆喰壁の木造建物です。湾曲の集材材を使うことにより木造でありながら球形形状施設を実現しました。

13 物見の丘

間伐材を使用した角材を組み合わせた面格子構造が特徴の展望台（高さ13.6m）です。海上の森や名古屋の街を展望できます。

14 愛・パーク（山口地域まちづくり協議会）

2005年愛・地球博の際に築造された天水皿、モリゾー・キッコロが皆さんをお迎えします。管理棟内の展示室には愛・地球博開催当時の万博グッズが展示されています。また、地元山口地域のやっとかめ！も～やっこ祭りが愛・パーク敷地内で同時開催されます。瀬戸焼きそば等の飲食ブースやマルシェをお楽しみください。

(飲食の提供等は有料)

愛・パーク北の池(通称「トンボ池」)では、「愛知工業大学教授 内田先生と行くトンボ池モニタリング」を開催しています。内田先生の解説を聞きながらハッチョウトンボや湿地の植物を見ることのできる特別プログラムです。

ぜひご参加ください。(約30分毎に開催予定・無料)



発展した秘密は
やきものの街が
里山の中にあつた



昭和8年完成当時の山口堰堤

2025.5.18(日) 第18回 Blaychi in せと まちあるきコースマップ

コラボイベント 愛環ぶらっとウォーキング

Blaychi in せとをより楽しんでいただくために

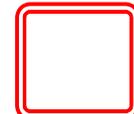
- マップを参考に、各自のペースで歩いてください。
 - コースは推奨ルートです。
 - 説明スポット(裏面参照)では、説明員が随時解説を行います。
 - 交通ルールとウォーキングマナーを守りましょう。
- ・横に広がって歩かないください。
 - ・草花や木の実などを取らないください。
 - ・私有地への無断立ち入り、歩きながらの喫煙や飲酒はご遠慮ください。
 - ・ゴミの拾い捨てはせず、各自でお持ち帰りください。
 - ・記載コースの距離や所要時間は目安です。
 - ・休憩時間や各施設での見学時間は含まれません。
 - ・ご自身の体力や体調等を考慮し、余裕をもってご参加ください。

本日の参加特典

- ゴール地点でこのコースマップを提示すると **モリコロオリジナルキーホルダー**や **愛環オリジナルピンバッジ**を含む参加賞を先着1000名様にプレゼント致します。最後に、アンケートのご協力をお願い致します。



愛環オリジナルピンバッジ ※「せとちゃん」を含む5種類のいずれか



プレゼント確認欄



すなっくん&モリコロオリジナルキーホルダー

SNSでも情報発信中!!



緊急連絡先



090-6804-9872
瀬戸市Blaychi実行委員会

主催 愛知県瀬戸市

協力

愛知・川の会、愛知環状鉄道株式会社、愛知環状鉄道連絡協議会、愛知県砂防ボランティア協会、愛知工業大学、あいち橋の会、茶友会、名糖産業株式会社、山口地域まちづくり協議会、山口ホタルの会、山口郷土資料館、山口地区社会福祉協議会、和菓子処三好屋老泉（五十音順）

